

第8 企業会計決算の状況

県が独立採算性を原則とする企業的色彩の強い事業を行う際に、法律や条例によって設置するもので、地方公営企業法の全部又は一部の適用を受ける公営企業の会計をいいます。

企業会計は、公共の福祉を目的とするとともに、企業の経済性を発揮することも求められており、その経理については、地方公営企業法の定めるところによります。

この会計方式は、一般のいわゆる官公庁会計が現金主義により経理されるのに対し、発生主義に基づく複式簿記方式により経理される点で大きく異なっています。

三重県では、公共の福祉を増進するため、水道事業、工業用水道事業、電気事業及び病院事業の4事業の経営を行っていますので、以下、それぞれの企業会計ごとに、その決算状況を説明します。

1 水道事業の概況

営業関係では、南勢志摩水道用水供給事業（志摩系：給水能力41,000 m^3 /日、南勢系：給水能力128,150 m^3 /日）、北中勢水道用水供給事業（北勢系木曾川水系：給水能力80,300 m^3 /日、北勢系三重水系：給水能力51,000 m^3 /日、北勢系長良川水系：給水能力13,400 m^3 /日、中勢系雲出川水系：給水能力81,416 m^3 /日、中勢系長良川水系：給水能力58,800 m^3 /日）及び伊賀水道用水供給事業（給水能力：28,750 m^3 /日）の3事業を運営し、平成21年度は県内18市町に対し、延べ83,598,375 m^3 の給水を行いました。

平成21年度の営業成績について、事業収益は12,000,233千円（対前年度比107.8%）で、内訳は、営業収益11,723,403千円（対前年度比109.8%）及び営業外収益276,829千円（対前年度比61.0%）であり、また、事業費用は10,107,132千円（対前年度比105.9%）で、内訳は、営業費用8,463,572千円（対前年度比109.6%）、営業外費用1,617,854千円（対前年度比88.6%）及び特別損失25,707千円（対前年度比皆増）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額1,893,100千円（対前年度比119.7%）が当年度の純利益となりました。

一方、建設事業は平成10年度から北中勢水道用水供給事業（北勢系第2次拡張事業長良川水系、総事業費20,766,000千円、給水能力18,000 m^3 /日）の建設を実施しており、平成23年4月の全部給水開始に向け、送水管布設の工事などを行いました。

伊賀水道用水供給事業は、平成21年4月から施設にかかる運転・維持管理業務を伊賀市水道部と委託契約を締結し運用していましたが、平成22年4月から伊賀市水道事業へ一元化されました。

平成21年度損益計算書 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	8,463,572	営業収益	11,723,403
原水及び浄水費	2,574,699	給水収益	11,719,868
配水費	509,469	その他営業収益	3,535
業務費	458,360		
総係費	731,976		
減価償却費	4,035,113		
資産減耗費	153,956		
営業外費用	1,617,854	営業外収益	276,829
支払利息	1,606,738	受取利息	62,388
受託工事費	11,035	他会計補助金	199,608
雑支出	81	補助金	189
特別損失	25,707	受託工事収益	11,035
その他特別損失	25,707	雑収益	3,609
当年度費用合計	10,107,132		
当年度純利益	1,893,100		
合 計	12,000,233	合 計	12,000,233

(四捨五入のため合計が合わない場合があります。)

平成21年度損益計算書<P/L> (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：千円、% (構成比))

	借 方	貸 方
	営業費用 8,463,572 (70.5%)	営業収益 11,723,403 (97.7%)
	営業外費用 1,617,854 (13.5%)	
特別損失 25,707 (0.2%)		
	当年度純利益 1,893,100 (15.8%)	営業外収益 276,829 (2.3%)

(四捨五入のため合計が合わない場合があります。)

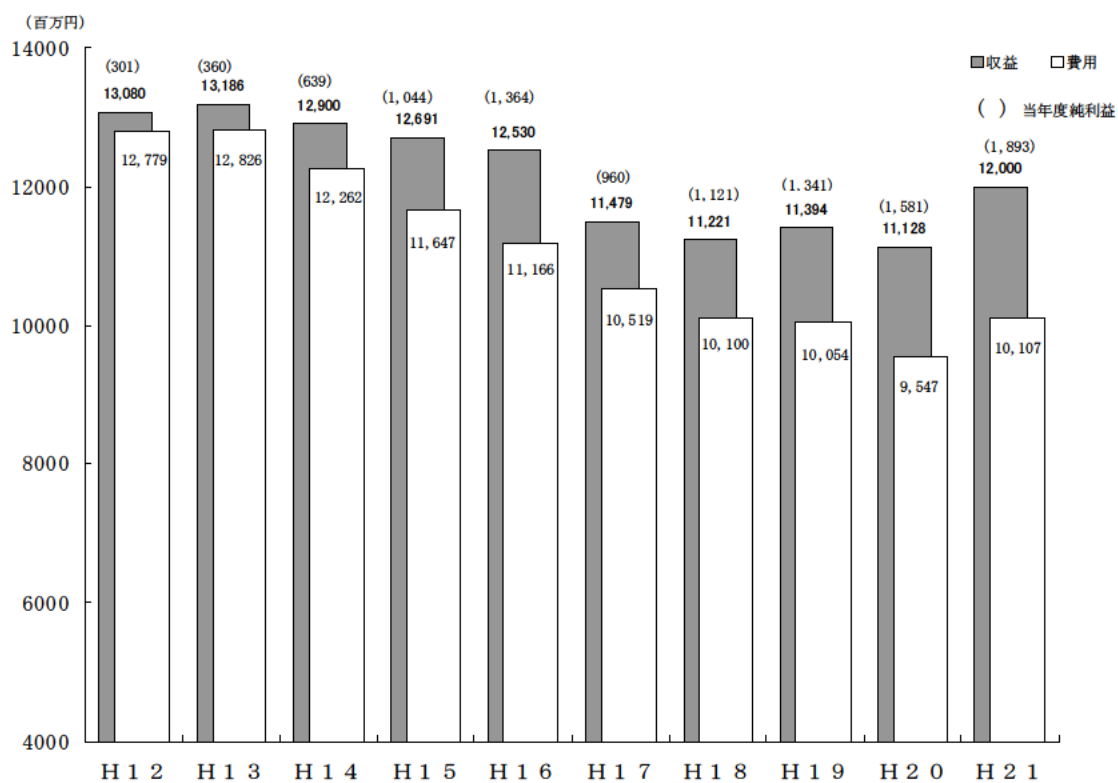
貸借対照表<B/S> (平成 22 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円、%(構成比))

借方	貸方
固定資産 183,240,134 (92.6%)	固定負債 6,858,911 (3.5%)
	資本金 134,337,260 (67.9%)
流動資産 14,606,421 (7.4%)	剰余金 55,636,254 (28.1%) 資本剰余金 52,239,950 利益剰余金 3,396,303
	流動負債 1,014,130 (0.5%)

(四捨五入のため合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため差引が合わない場合があります。)

2 工業用水道事業の概況

営業関係では、北伊勢工業用水道事業（契約水量 717,660 m³/日）、多度工業用水道事業（契約水量 10,000 m³/日）、中伊勢工業用水道事業（契約水量 17,490 m³/日）、松阪工業用水道事業（契約水量 38,500 m³/日）の4事業を運営し、県内企業の生産活動における水需要に応えるため、平成21年度においては105工場に対し、延べ167,138,828 m³の工業用水を供給しました。

平成21年度の営業成績について、事業収益は6,208,905千円（対前年度比97.0%）で、内訳は、営業収益6,121,234千円（対前年度比97.6%）、営業外収益75,817千円（対前年度比60.9%）及び特別利益11,854千円（対前年度比皆増）であり、また、事業費用は5,793,049千円（対前年度比105.5%）で、内訳は、営業費用4,765,534千円（対前年度比99.9%）、営業外費用657,315千円（対前年度比93.6%）及び特別損失370,200千円（うち南伊勢工業用水道事業廃止に伴う特別損失356,906千円）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差415,856千円（対前年度比45.9%）が当年度の純利益となりました。

一方、改良事業については、地震等の災害に備えるとともに工業用水の安定給水を図るため、北伊勢工業用水道等の老朽劣化施設の更新・補強工事など施設改良を計画的に実施しました。

平成21年度損益計算書（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	4,765,534	営業収益	6,121,234
原水及び浄水費	1,656,524	給水収益	5,525,360
配水費	205,012	その他営業収益	595,874
業務費	302,092		
総係費	363,823		
減価償却費	2,227,785		
資産減耗費	10,299		
営業外費用	657,315	営業外収益	75,817
支払利息	656,528	受取利息	70,391
受託工事費	640	他会計補助金	837
雑支出	147	受託工事収益	640
特別損失	370,200	雑収益	3,949
過年度損益修正損	3,857	特別利益	11,854
その他特別損失	366,343	固定資産売却益	11,854
当年度費用合計	5,793,049		
当年度純利益	415,856		
合 計	6,208,905	合 計	6,208,905

（四捨五入のため合計が合わない場合があります）

平成21年度損益計算書<P/L> (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：千円、% (構成比))

借方		貸方	
営業費用	4,765,534 (76.8%)	営業収益	6,121,234 (98.6%)
営業外費用	657,315 (10.6%)	営業外収益	75,817 (1.2%)
特別損失	370,200 (6.0%)	特別利益	11,854 (0.2%)
当年度純利益	415,856 (6.7%)		

(四捨五入のため合計が合わない場合があります。)

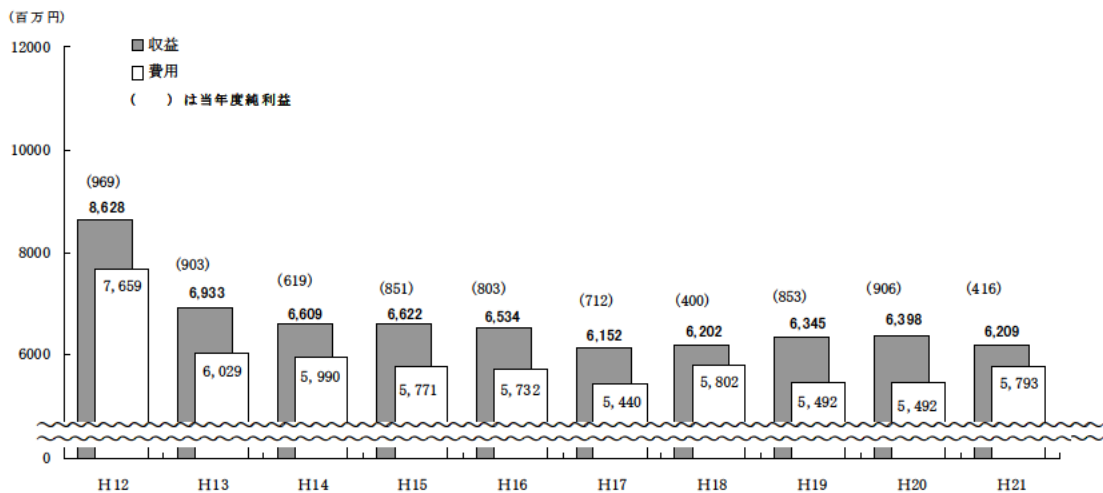
貸借対照表<B/S> (平成22年3月31日現在)

(単位：千円、% (構成比))

借方		貸方	
固定資産	120,447,671 (89.0%)	固定負債	10,661,842 (7.9%)
流動資産	14,841,977 (11.0%)	流動負債	505,510 (0.4%)
		資本金	82,660,192 (61.1%)
		剰余金	41,462,105 (30.6%)
		資本剰余金	41,040,839
		利益剰余金	421,266

(四捨五入のため合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため差引が合わない場合があります。)

3 電気事業の概況

営業関係では、水力発電事業については降雨量が例年より少なかった影響を受け、発電量は目標電力量 295,190,000kWh に対し、供給電力量 289,849,940kWh (98.2%) にとどまりました。

R D F 焼却・発電事業については、三重ごみ固形燃料発電所を年間を通して安定して運転することができた結果、R D F 46,108 トンを受け入れ、59,680,900kWh の発電を行いました。

平成 21 年度の営業成績について、事業収益は 2,929,177 千円 (対前年度比 94.1%) で、内訳は、営業収益 2,161,640 千円 (対前年度比 92.8%)、附帯事業収益 749,204 千円 (対前年度比 99.1%) 及び営業外収益 18,334 千円 (対前年度比 68.7%) であり、事業費用は 3,231,059 千円 (対前年度比 101.8%) で、内訳は、営業費用 1,810,625 千円 (対前年度比 94.3%)、附帯事業費用 1,208,390 千円 (対前年度比 119.8%) 及び営業外費用 212,044 千円 (対前年度比 87.0%) です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額 301,882 千円 (対前年度比 495.2%) が当年度の純損失となりました。

平成21年度損益計算書（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	1,810,625	営業収益	2,161,640
宮川第一水力発電費	102,224	電力料	2,160,327
宮川第二水力発電費	176,831	その他営業収益	1,313
宮川第三水力発電費	107,530		
長水力発電費	78,925		
三瀬谷水力発電費	515,128		
大杉貯水池費	123,179		
青蓮寺水力発電費	24,800		
大和谷水力発電費	106,325		
蓮水力発電費	132,053		
青田水力発電費	120,691		
比奈知水力発電費	55,154		
一般管理費	267,784		
附帯事業費用	1,208,390	附帯事業収益	749,204
RDF発電費	1,208,390	電力料	442,147
		その他附帯事業収益	327,057
営業外費用	212,044	営業外収益	18,334
支払利息	212,043	受取利息	16,780
雑支出	1	雑収益	1,034
		他会計補助金	520
		当年度収益合計	2,929,177
		当年度純損失	301,882
合 計	3,231,059	合 計	3,231,059

（四捨五入のため合計が合わない場合があります。）

平成21年度損益計算書<P/L>（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：千円、%（構成比））

借 方	貸 方
営業費用 1,810,625 (56.0%)	営業収益 2,161,640 (66.9%)
附帯事業費用 1,208,390 (37.4%)	附帯事業収益 749,204 (23.2%)
営業外費用 212,044 (6.6%)	営業外収益 18,334 (0.6%)
	当年度純損失 301,882 (9.3%)

（四捨五入のため合計が合わない場合があります。）

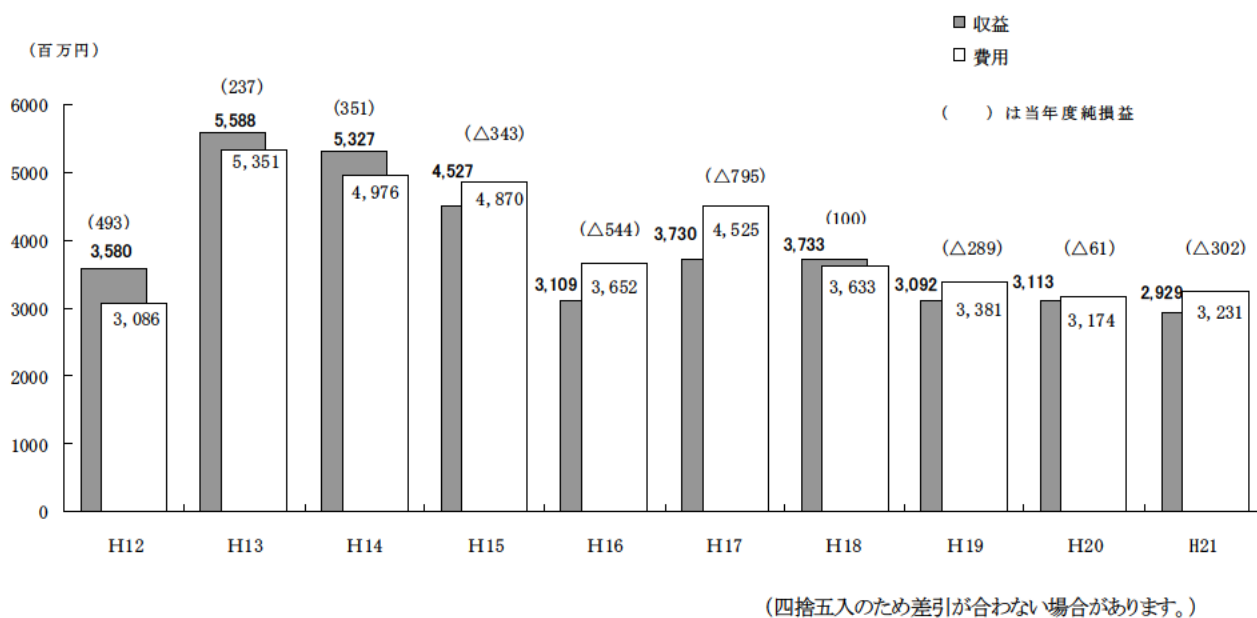
貸借対照表<B/S> (平成 22 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円、%(構成比))

借方	貸方
固定資産 15,849,756 (85.6%)	資本金 16,937,689 (91.5%)
流動資産 2,664,044 (14.4%)	固定負債 341,964 (1.8%)
	流動負債 264,839 (1.4%)
	剰余金 969,308 (5.2%)
	資本剰余金 3,194,263
	利益剰余金△2,224,955

(四捨五入のため合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



4 病院事業の概況

三重県病院事業は、総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営し、県民が健康で文化的な生活ができる社会の実現に貢献するため、良質で満足度の高い医療の継続的な提供に努めております。しかしながら、新しい医師臨床研修制度の導入や度重なる診療報酬の引き下げ改定等、病院運営を取り巻く環境が著しく変化する中、特に医師・看護師不足が影響し、本来、病院が有する機能が十分に発揮できなくなり、その結果として収支は赤字基調となっています。

平成21年度における県立病院の利用状況は、入院患者数が延べ326,377人(1日平均894.2人)、外来患者数が延べ300,349人(1日平均1241.1人)で、前年度に比べ入院患者数は延べ12,558人の減少、外来患者数は延べ41,621人の減少となりました。

平成21年度の営業成績について、医業収益は137億1,366万3千円、医業費用は174億194万6千円で、差引きした医業損失は36億8,828万3千円となりました。

これに他会計補助金等の医業外収益39億7,500万3千円と企業債利息等の医業外費用11億6,932万円を加減した経常収支は、8億8,260万1千円の赤字となりました。また、過去に引き当てるべきであった退職給与引当金計上による特別損失を1億3,490万4千円計上しました。

以上の結果、総収益が176億8,866万6千円、総費用が187億617万円となり、差し引きした純損失は10億1,750万5千円を計上し、前年度に比べ損失額は3億2,624万3千円の減少となりました。

また、施設及び設備の整備については、こころの医療センターの認知症病棟保護室や救急病棟塀整備事業、総合医療センターのガンマカメラやX線透視撮影装置等、診療機能の充実・強化を図るための高度医療機器の導入等を実施し、4病院で3億7,772万9千円を執行しました。

平成21年度損益計算書（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
医業費用	17,401,946	医業収益	13,713,663
給与費	9,692,513	入院収益	9,783,547
材料費	3,431,347	外来収益	3,615,408
経費	2,817,083	その他医業収益	314,708
減価償却費	1,381,990		
資産減耗費	19,497	医業外収益	3,975,003
研究研修費	59,516	受取利息配当金	17,014
医業外費用	1,169,320	他会計補助金	580,379
支払利息及び企業債取扱諸費	750,369	補助金	42,455
繰延勘定償却	83,057	負担金	3,163,912
患者外給食材料費	1,995	その他医業外収益	171,243
雑損失	333,900		
特別損失	134,904	当年度収益合計	17,688,666
		当年度純損失	1,017,505
合 計	18,706,170	合 計	18,706,170

（四捨五入のため合計に合わない場合があります。）

損益計算書＜P/L＞（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

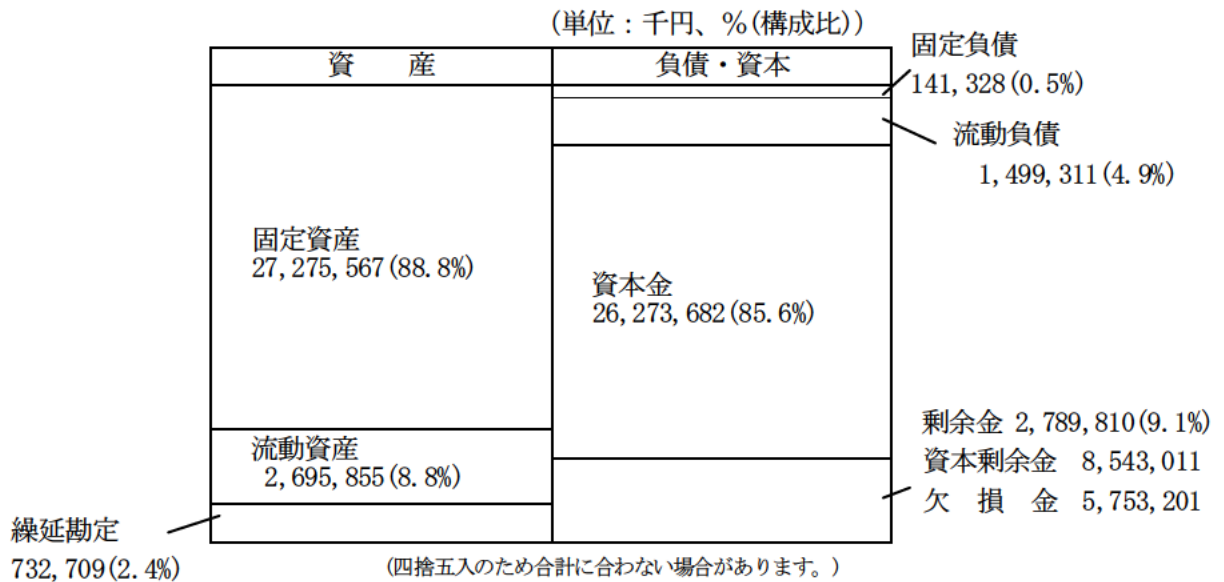
（単位：千円、%（構成比））

借 方	貸 方
医業費用 17,401,946 (93.0%)	医業収益 13,713,663 (73.3%)
医業外費用 1,169,320 (6.3%)	医業外収益 3,975,003 (21.2%)
	当年度純損失 1,017,505 (5.4%)

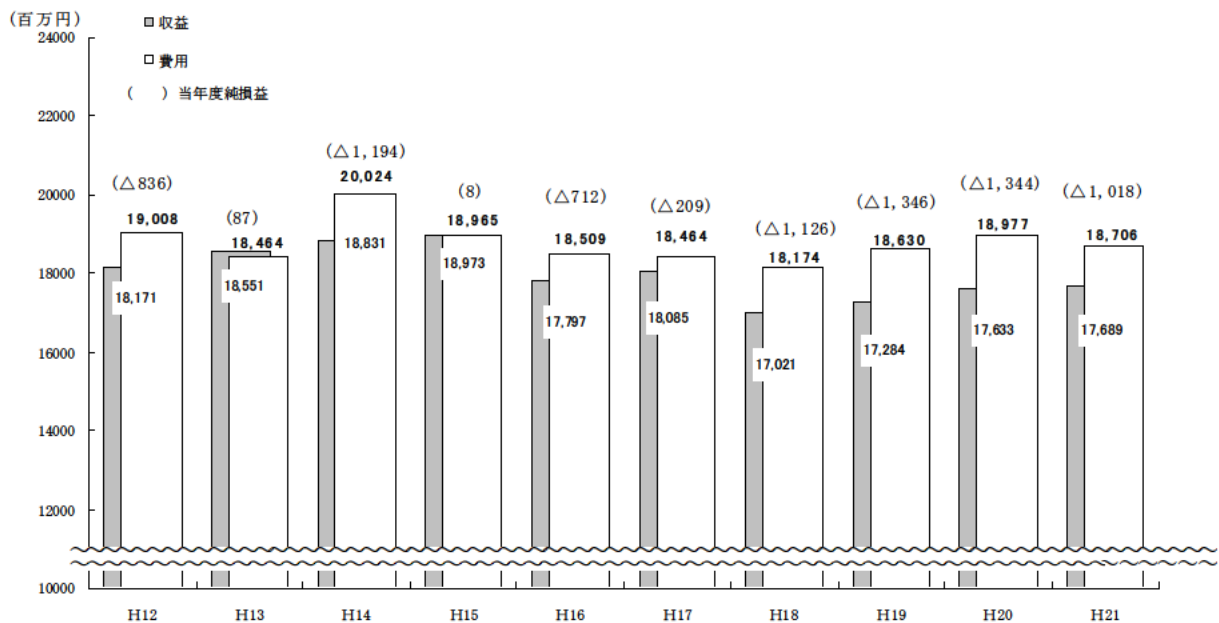
特別損失
134,904(0.7%)

（四捨五入のため合計に合わない場合があります。）

貸借対照表<B/S> (平成22年3月31日現在)



年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため差引が合わない場合があります。)